

第4回 福山市都市マスタープラン検討委員会 議事要旨

1 日 時

2025年(令和7年)10月29日(水)18時30分

2 場 所

福山市役所議会棟 4階 理事者控室

3 出席者(委員)

広島大学	教授	田中 貴宏
呉工業高等専門学校	教授	神田 佑亮
福山市農業委員会	会長職務代理	岡本 卓也
福山商工会議所	専務理事	小林 仁志
福山市商工会連絡協議会幹事商工会神辺町商工会	事務局長	藤城 敏生 (代理)
福山市自治会連合会	常任理事	大畠 功之
社会福祉法人福山市社会福祉協議会	課長	竹廣 陽子
市民委員		森山 恵
国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所	副所長	杉原 義和
広島県東部建設事務所	次長	山口 純
福山市建設局	局長	市川 清登

4 議事一覧

- (1) 第3回福山市都市マスタープラン検討委員会の振り返り【資料1】
- (2) 都市づくりの基本理念(案)【資料2】
- (3) 次期福山市都市マスタープランの全体構想(案)【資料3】
- (4) その他

5 議事の概要

(1) 第3回福山市都市マスタープラン検討委員会の振り返り【資料1】

- ・第3回福山市都市マスタープラン検討委員会における各委員からの意見について振り返りを行った。

【委員からの主な意見】

- ・意見無し

(2) 都市づくりの基本理念（案）【資料2】

- ・検討委員会ワークショップなどの意見を踏まえ、20年後の福山市を見据えた都市づくりの理念（ビジョン）を共有するため、次期福山市都市マスタープランにおける都市づくりの基本理念（案）について検討した。

【委員からの主な意見】

- ・基本理念の中に子育て支援だけでなく、バリアフリーなど福祉的な言葉が入ってもいいのではないか。また、人口流出に歯止めをかけるため「誰もが住みやすい」という言葉も必要ではないか。
- ・地域資源の具体を記述した方がよいのではないか。
- ・都市生活を充実させるという都心部の記述と併せて、主に農業や観光を担う都市周辺部に対する記述も必要ではないか。
- ・基本理念の文章は、字数など関係なく、キーワードもすべて網羅して、めざすべきことをすべて記述するべきではないか。まとめ過ぎると薄まってしまい、都市マスタープランが何をめざしているのか分からなくなるので、コンパクトに表現することにこだわらない方がよい。
- ・基本理念の短い一文だけが出てきても響かないので、基本理念に込めた思いをしっかりととした文章で表現した方がよいと思う。
- ・人口減少、出生率も低い中で、福山市にすでに住んでいる人だけでは減少する一方なので、移住など市外から呼び込むような表現が必要ではないか。
- ・福山に来てもらうための仕掛けづくりを行政もしていくなどポジティブなアイデアが一つあってもいいと思う。現状維持だけでなく、プラスの何かがあると良いと思う。
- ・住み替えの促進をやっていくのも良いと思う。例えば、行政が主導の住み替えの相談会を行い、不動産会社を結びつける。不動産の価値を上げる仕掛けづくりを行政と民間で連携していくようなニュアンスが入れば良いと思う。

- ・強みを生かすというキーワードもほしい。例えば、福山市は産業が強みであるため、産業誘致より産業強化の方がよい。流入人口を増やすという意味でも、産業を強くすると、雇用が生まれ、定住促進につながるといった循環が表現できるとよいのではないか。
- ・官民連携というフレーズはよく使われる言葉であるため、差別化を図るという意味で、表現を工夫していただきたい。
- ・福山は他の都市に比べて抜きに出てほしい。先行投資をするなど、その姿勢を示して、オンリーワンやトップを目指すなどの強い決意表明があってもよいのではないか。
- ・産業誘致や産業強化という言葉で、市外から新たな企業を呼び込むことや市内企業の更なる前進を示すといった前向きな思いを込めたものが必要かと思う。
- ・人口流出の割合をみると女性が多いなど、なぜ人口が減っているかを考える必要があると思う。持続可能な産業などのハード面の整備と併せて、ジェンダー平等やこども・女性・社会的弱者の方に優しくするといったマインド的なソフト面のニュアンスも入れてほしい。
- ・若者を中心とした将来の福山市を担う方たちに向けた政策やその周知が、「未来につながる活力ある都市づくり」にもつながると思う。そういった意味で、地元産業などのPRというのも大事だと思う。
- ・ワークショップで出た意見は、市の施策と合致する点が多いところもあり、なるべく意見としてまとめたキーワードを網羅的にさまざまな視点で文章化し、最も熱く語るべき内容を都市づくりの基本理念の解説として記載することがよいかと思う。
- ・構成としては、都市づくりに関する背景や方向性について、なるべく具体的な内容を踏まえながら網羅的に文章化したものを記載し、結論として、基本理念の一文と短くまとめた解説があるとよいのではないか。

（3）次期福山市都市マスタープランの全体構想（案）【資料3】

- ・検討委員会ワークショップなどの意見を都市整備の基本方針の骨子（第5章）にどう反映していくかを検討した。
- ・次期福山市都市マスタープランの素案（第1～4章）を提示し、作成状況を共有した。

【委員からの主な意見】

- ・ワークショップの意見に対して工業地に関する記載が弱くないか。産業強化など、前に出るような言葉がほしい。

- ・観光の中に福山 MICE について新しい施設をつくるようなことや、今ある資源を生かした産業 MICE をやるような整備方針を記載するべきと思う。
- ・従来の外国人との共生社会をつくっていくことは、都市機能を低下させないために必要なことなので、共生を推進することをもっと直接的な表現にした方がよい。
- ・目的を示した上で整備方針を示すとリアリティーが増すので、その結果が事業の必要性と紐づくので検討しやすくなると思う。地区別の計画で、事業を地図に示すと思うが、その前段で、整備方針を地図ベースに示して議論することがよいと思う。
- ・市街地整備の方針の大規模住宅団地について、空き家の有効利用は整備方針として必要だが、実態が伴わないような整備方針にならないよう留意すべき。
- ・道路については、勤務時間や水曜日のノー残業デーが固定化してしまい、交通が集中してしまうので、フレックスタイム制など企業の働き方改革を生かした交通の分散といったソフト施策を行った上で渋滞対策を行っていくべきかと思う。
- ・バリアフリーの住環境については、家の中だけでなく、道路など家の周辺も含めた住環境という形で、地域にも言及するとよい。
- ・生活道路の対策としてゾーン 30 プラスを行っており、安心安全という観点で施策を進めていく記載していくべき。
- ・目的を示した上で、整備方針を記載し、揺るぎないところはなるべく具体的に記載すべきだが、細かいことは個別計画に委ねて、社会状況、法改正に合わせて制度も毎年変えながらやっていく。そういう中で、より伝わりやすい都市マスタープランになるよう、様々な意見を踏まえながら取り組んでいくべき。
- ・どんな考え方で整備方針を掲げているのか、整備方針ごとのその説明が重要になる。

(4) その他

- ・今後の流れとして、検討委員会の開催時期やその概要など、都市マスタープラン改定までのスケジュールについて確認した。

以上